



2020 年度

模擬国連会議全米大会

第 37 代日本代表団派遣事業

応募要項

Japanese Delegation to NMUN

Application Guidebook

目次

はじめに.....	2
団長挨拶.....	2
選考プロセス担当挨拶.....	3
応募資格.....	4
選考プロセス.....	5
選考日程.....	5
選考プロセス概要.....	6
応募方法.....	7
ステップ1 必要書類を準備する（応募書類説明）.....	7
ステップ2 必要書類を提出する.....	9
ステップ3 受理完了通知を受け取る.....	10
ステップ4 選考会議参加費用を振り込む.....	100
おわりに.....	111

はじめに

団長挨拶

皆さん、こんにちは。模擬国連会議全米大会第 37 代日本代表団派遣事業運営局にて運営統括兼団長を務めております、坂本知陽と申します。

本紙を手にとってくださりありがとうございます。全米団に挑戦するぞと意気込んでいる方もいれば、まだ応募するか悩んでいる方もいらっしゃると思います。実際私も応募するか締め切り直前まで迷いましたが、たくさんの人の意見に触れ視野を広げたいという思いから締め切り最終日に応募を決めました。約 1 年全米団事業に関わったことにより、幅広い知識を得ることが出来ただけではなく多角的な視点を得られたと実感しております。

当事業では、選考プロセスを通して「日本代表団」の派遣団員を選出します。応募される皆さまにはこのことに留意し、覚悟とやる気を持って応募書類を提出していただければと思います。

また、自分が「全米団」でどのような能力を得たいのか、何に挑戦したいのかなど、今一度自分自身を見つめ直していただきたと思います。確固たる物を作るのが難しいのであれば、漠然とでもよいので、自分のビジョンを持ち選考プロセスに挑めば、選考期間中により多くの学びを得られることでしょう。選考期間のみならず今後の生活の中でも、何か困難にぶつかったときそのビジョンは自分を支え、ときには進むべき方向を導いてくれます。

さて、本紙が公開されてから、応募締め切りまでは約一ヶ月半ございます。締め切りまで焦らずじっくりと考え、皆さんにとって最善な選択ができるよう願っています。そして当事業に申し込む決心をしたときの気持ちを忘れず、最後まで自分の力を信じて挑戦してください。

37 代運営局一同、皆さんにとって少しでも学びあるものにできるよう選考プロセスを運営して参ります。

ご応募、心待ちにしています。

模擬国連会議全米大会第 37 代日本代表団派遣事業運営局
運営統括・団長 坂本知陽

選考プロセス担当挨拶

今、皆さんはどのような心境でこの応募要項を読んでいますか。

期待でしょうか、それとも不安や迷いでしょうか。どのような巡り合わせで全米団に出会い、どのような気持ちでこの応募要項を手に行っているかはそれぞれだと思います。しかし一つ皆さんに共通して言えることがあるのではないのでしょうか。それは「現状に満足しきれていない」ということです。ワクワクするような新たな経験がしたい。世界で力試しをしたい。自分の将来のためになることを学びたい。ダメな自分を変えたい。それぞれ自分の求める「何か」を得ようという志を持って、全米団へのアプライを検討していることと思います。

もし全米団で何か得たいものがあるのなら、ぜひ選考プロセスから、全力で挑んでください。私は、全米団は自分の力を試す場であると感じています。己の全力の限界はどれくらいのものなのか、自分の実力とその伸ばし方を知るチャンスを、プログラム全てのプロセスを通して与えてくれる場です。そして、「己の全力」に向き合う全米団での経験は、選考プロセスから始まっているのです。アプライする皆さんの能力や人物像を多角的に見つめることを意識して選考プロセスを設計しています。今年の選考コンセプトは「他者に、己に向き合え」です。他の参加者の姿を見て学ぶこと、自分自身の思考過程や行動を見つめ直し気づくことは思いの外沢山あると思います。

与えられるチャンスを掴み取る決意とそのための努力を惜しまない意志があるのならば、全米団はあなたの人生の良き踏み台となるプログラムであると確信を持って言えます。私は、選択を正解たらしめるのは、その選択後に置かれた環境で各々が取る行動であると考えます。皆さんのいま抱いている「志」を大切に、慎重に、かつ選択の重みを恐れ過ぎずにアプライを検討していただければと思います。

皆さんの挑戦を、我々運営局員も真摯に受け止め、向き合って参ります。ご応募お待ちしております。

模擬国連会議全米大会第37代日本代表団派遣事業運営局
選考プロセス担当 横山咲希

応募資格

以下7つの項目全てを満たす者。

1. 第37代日本代表団選考プロセスへの応募段階で、以下の団体の会員であり、かつ大学一年生もしくはそれに相当する者¹。

該当団体：日本模擬国連に加盟する研究会または支部（京都研究会、国立研究会、神戸研究会、駒場研究会、日吉研究会、四ツ谷研究会、早稲田研究会、九州支部、名古屋支部、北陸支部）

2. これまでに、当事業の選考プロセス、DDP（団員育成プログラム）、渡米プログラム、並びに当事業の運営への参加経験がない者。
3. 2020年3月中旬から4月上旬までの渡米プログラム²全てに参加可能である者。
4. 団員として選出されてから大会までの準備期間、及び渡米期間のすべてのプログラムを全うする意思がある者。
5. 帰国後、翌年6月上旬まで続く年間を通した第38代日本代表団派遣事業の運営に携わることが可能であり、かつそれを全うする意思がある者。
6. 帰国後、日本での各種模擬国連大会及び通常活動に積極的に参加し、今後の模擬国連活動全般に貢献する意思がある者。
7. 心身ともに健康である者。

¹ 何か特別な事情がある場合は、事前にメールでご相談ください。（全米団総務メールアドレス：ga_nmun@jmun.org）

² 渡米プログラムの詳細については、決まり次第お知らせ致します。渡米費用の個人負担額は15-19万円程度を予定しています。

選考プロセス³

選考日程

8月1日(木)	応募開始
8月31日(土)	応募締切（応募書類提出締め切り） ※メール提出で31日(土)23:59 締切（日本標準時）
9月6日(金)	一次選考通過者発表 ※一次選考は応募者多数の場合のみ実施します。 一次選考には応募課題 ⁴ を使用します。
	タスク概要書配布 面接日程発表 ⁵
9月11日(水)-16日(月)	タスク A（面接・グループディスカッション） ※関東・関西の2地区で実施します。 日程の詳細については参加申込書をご確認ください。
9月23日(月)	タスク B（論文課題）提出締切
10月1日(火)	タスク C（論文課題）提出締切
10月12日(土)-13日(日)	タスク D（政策立案コンテンツ） ※東京で実施します（宿泊あり）
10月17日(木)	タスク E（レビューペーパー）提出締切
10月31日(月)	模擬国連会議全米大会第37代日本代表団団員発表

³ 選考プロセスの日程等はやむを得ず変更する場合があります。ご了承ください。

⁴ 応募課題の提出締切日は応募締切日と同日ですご注意ください。

⁵ 選考に必要な書類は一次選考通過者のみに配布します。

選考プロセス概要

応募書類

- 参加申込書
- 志望理由書（日本語）

タスク A

- 面接（英語・日本語）
- グループディスカッション（英語）

タスク B

- 論文課題：問題分析（日本語）

タスク C

- 論文課題：政策立案（日本語）

タスク D

- 政策立案コンテンツ（日本語）

タスク E

- レビューペーパー（英語）

※タスク A～E の詳細は、9月6日（金）配布予定のタスク概要書に記載します。

応募方法

応募期間：8月1日（木）～8月31日（土）
メール提出で8月31日（土）23:59 締切（日本標準時）

※遅延受理は一切認めません。

手続きに間違い・遅れのないよう十分に気をつけてください。
なお、全ての課題及びタスクにおいて再提出は認められません。

ステップ1 必要書類を準備する

必要書類は、①参加申込書と②応募課題の2点です。

①参加申込書

全米団 HP (<https://nmun-jpn.jimdo.com/>) よりダウンロードし、全ての項目を漏れのないよう記入してください。記入上の注意点は、以下の通りです。

1. 黒のボールペンで、数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に記入してください。
2. 希望役職とその理由については、全米団 Guide Book や運営概要書（全米団 HP (<https://nmun-jpn.jimdo.com/>) の「ニュース」欄からダウンロード可）、全米団 Twitter: @JapanMUN_NMUN の役職紹介ツイート等を参考にしてください。
3. 顔写真は、顔が分かれば証明写真でなくても構いませんが、過度に修正されたものはお控えください。
4. 参加申込書を提出する際は、参加申込書を記載内容がはっきりと見えるかたちでデータ化したものを添付してください。また、ファイル名は「参加申込書_氏名（ローマ字表記）」としてください。（ファイル名例：参加申込書_SakiYOKOYAMA）

※記入を終えメール提出をする際は、コンビニエンスストアや自宅のコピー機を使用して用紙をスキャンし、PDF化したものをメールに添付してください。

※ご記入いただいた個人情報、第37代全米団派遣事業運営局が適切に管理し、ご本人の同意なく選考プロセス業務以外の目的で利用することはありません。

※提出していただいた参加申込書は返却いたしません。

※タスク A の実施場所や時間帯の詳細は、9月6日(金)の面接日程発表時にお知らせしますが、面接場所については、関東の場合は上智大学、関西の場合は同志社大学で実施する予定です。時間帯については、9時から18時の間の2時間程度を予定しています。

②志望理由書

模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業規約

第一章：総則

第一条（名称） 本団体は、模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業（Japanese Delegation to the National Model United Nations Conference Project）と称し、団体の略称は、「全米団派遣事業」とする。（以下「当事業」とする。）

第二条（目的） 当事業は、模擬国連会議全米大会日本代表団（以下「日本代表団」とする。）として国連における外交を体感する機会を享受した後に、その機会で培った知識や経験を多くの人に伝えることによる、国際問題の社会的認知の促進、模擬国連活動の発展、及び国際社会において活躍する人材の育成を目的とする。

（以下略）

模擬国連会議全米大会第 37 代日本代表団団員（以下、団員）に選出されると、団員育成プログラムを含む渡米準備、全米大会参加、並びに第 38 代日本代表団派遣事業の運営を行うこととなります。

以上の全米団の目的や活動内容をふまえ、日本語で志望理由書を書いてください。志望理由には、全米団に入り自分が成し遂げたいことを必ず含めるようにしてください。**(1000 字以上)**

志望理由書作成上の注意点は以下の通りです。

1. 応募課題は Microsoft Word で、日本語は MS 明朝 10.5、英語・数字・記号は Times New Roman 10.5 で書いてください。
2. 一行目に左揃えで「応募課題」（「」は不要です）と記した上で、本文は三行目から書き始めてください。
3. 余白は 2.54cm（1 インチ）以上取ってください。
4. 図や絵、写真は載せても評価の対象とはなりません。
5. 志望理由書をメールで提出する際は、ファイルの種類を Word 文書 (.doc) もしくは Word 文書 (.docx) とし、ファイル名は「志望理由書_氏名」としてください。

（例：志望理由書 _SakiYOKOYAMA）

ステップ2 必要書類を提出する

必要書類は、E-mail で提出してください。提出方法が少々複雑ですので、時間に余裕を持ち、十分に注意して行ってください。E-mail に、提出する必要書類を添付し、

nmun2020submit@gmail.com と **submit_nmun2020@yahoo.co.jp** の2つのメールアドレスを宛先として併記し、書類を提出してください。件名は、「【全米団応募希望】氏名（日本語表記）」としてください。（例：【全米団応募希望】横山咲希）

E-mail 提出が無事受領されますと、Gmail アドレス、Yahoo!メールアドレスのそれぞれから提出完了通知が自動返信されます。

ステップ2に関する注意点は、以下の通りです。

1. 必要書類の提出は、2種類の E-mail アドレス（Gmail アドレスと Yahoo!メールアドレス）のそれぞれから提出完了通知が自動返信された時点で完了となります。必ず2種類の E-mail アドレス両方に提出してください。
2. 参加申込書、志望理由書の二点を添付してください。
3. 参加申込書は、コンビニエンスストアや自宅のコピー機等を使用し、スキャンしてPDF化したものをメールに添付し、送付してください。
4. 提出の際は、一般的なマナーとして、メール本文を書いた上で送信してください。
5. 提出用アドレスである **nmun2020submit@gmail.com** 及び **submit_nmun2020@yahoo.co.jp** では必要書類のみ受け付けます。質問は総務アドレス(**ga_nmun@jmun.org**)にお送りください。
6. E-mail 提出の遅延受理及び再提出は認められません。提出締切時間間際は、サーバーダウンが発生する可能性があります。また、サーバーの不具合などにより送信受理に時間差が生じることもございます。提出は余裕を持って行ってください。

※2種類のメールアドレスは、いずれか一方のメールのサーバーダウン及びその他のトラブルに備えて用意しています。

ステップ 3 受理完了通知を受け取る

ステップ 2 で提出していただいた書類の受理完了通知あるいは不受理通知を随時お送り致します⁶。受理完了通知をお送りした時点で E-mail 提出の受理が完了し、申し込み完了となります。

ステップ 4 政策立案コンテンツ（宿泊）参加費用を振り込む

9月6日（金）に一次選考合格者を発表し⁷、続いて合格者には E-mail にて政策立案コンテンツ参加費用及び支払先をお知らせ致します。9月12日（木）14時までに指定口座に政策立案コンテンツ参加費⁸をお振込みいただきますようお願い致します。詳細は E-mail 内容をご確認ください。

ステップ 2 での 2 種類の E-mail 提出後 24 時間以内にいずれかもしくは両方のアドレスからの返信が届かない場合、ステップ 3 で 9 月 2 日（月） 23 : 59 までに受理完了通知あるいは不受理通知が届かない場合、もしくはステップ 4 で一次選考に合格しているにも関わらず、9 月 6 日（金） 23 : 59 までに E-mail が届かない場合は、総務の高橋までご連絡ください。アプライに関してのご質問も下記メールアドレスにて承りますが、選考コンテンツの具体的な内容などに関する質問は受け付けませんのでご了承ください。

高橋理都子（総務） E-mail : ga_nmun@jmun.org

⁶ 9月2日(月)までに受理完了通知あるいは不受理通知をお送り致します。

⁷ 一次選考の可否については、応募者全員に E-mail で通知致します。

⁸ 政策立案コンテンツ費用は、宿泊費等込みで 6000 円前後です。

おわりに

当事業に関する情報は随時 HP や SNS で更新いたしております。
全米大会（National Model United Nations）HP と併せてご覧ください。

模擬国連会議全米大会 HP : <http://www.nmun.org/>
全米団 HP : <https://nmun-jpn.jimdo.com/>
全米団 Facebook : @jpn.to.nmun
全米団 Twitter : @JapanMUN_NMUN
全米団 Instagram : japanmun_nmun
全米団 YouTube : 模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業（全米団）

運営局員一同、たくさんのご応募
お待ちしております。

